

## 設備資金報に係る記載要領

令和7年3月

### I. 一般的記載注意事項

- (1) 報告書の調査期間は一事業年度とする。
- (2) 報告書に計上すべき数値は、一事業年度における累計額を記載する。
- (3) 報告書に記載すべき設備については、運転中、休止を問わず事業用電気工作物について記載する。
- (4) 数字の桁区切り (,) は、(.) と見誤りがないように明瞭に記載する。
- (5) 報告書に記載すべき数値は、単位未満切り捨てとする。

(次ページへ続く)

## II. 記載要領

- (1) 「工事費」欄は、「拡充工事」及び「改良工事」の区分毎に当該期間に支出した工事額を記載する。
- (2) 「拡充工事」及び「改良工事」の欄は、「発電所」、「変電所」、「送電線路」、「配電線路」及び「給電設備その他」の設備区分毎に記載し、「発電所等」欄は原動力別、燃料種別に記載する。
- (3) 「火力」欄は、下記により記載する。
- (i) 一つの火力発電所において、二種類以上の燃料を混焼している場合、発電機毎に主要な燃料を定め、主要な燃料の欄に記載すること。
- (ii) (i) において、複数の発電機に係る共用設備がある場合、共用設備に係る工事額を各発電機に按分すること。

(記載例) A発電所の燃料種別の工事額について

- ① 発電機毎に主要な燃料を定める。

|       | 号機  | 工事額    | 使用燃料<br>(下線部が主要な燃料) |
|-------|-----|--------|---------------------|
| A 発電所 | 1 号 | 100 億円 | <u>L N G</u>        |
|       | 2 号 | 200 億円 | <u>石油</u> 、L P G    |
|       | 3 号 | 300 億円 | <u>L N G</u> 、L P G |

- ② 発電機毎に主要な燃料の欄に記載する。

|     |             |        |
|-----|-------------|--------|
| 火 力 | 石 炭         |        |
|     | L N G       | 400 億円 |
|     | 石 油         | 200 億円 |
|     | L P G       |        |
|     | そ の 他 ガ ス   |        |
|     | 歴 青 質 混 合 物 |        |

- (4) 「調査費」欄は、工事に必要な調査・測量等に伴う支出額を記載する。
- (5) 「核燃料」欄は、核燃料に係る支出額を記載する。

(以上)